

伊豆大島周辺の海底調査*

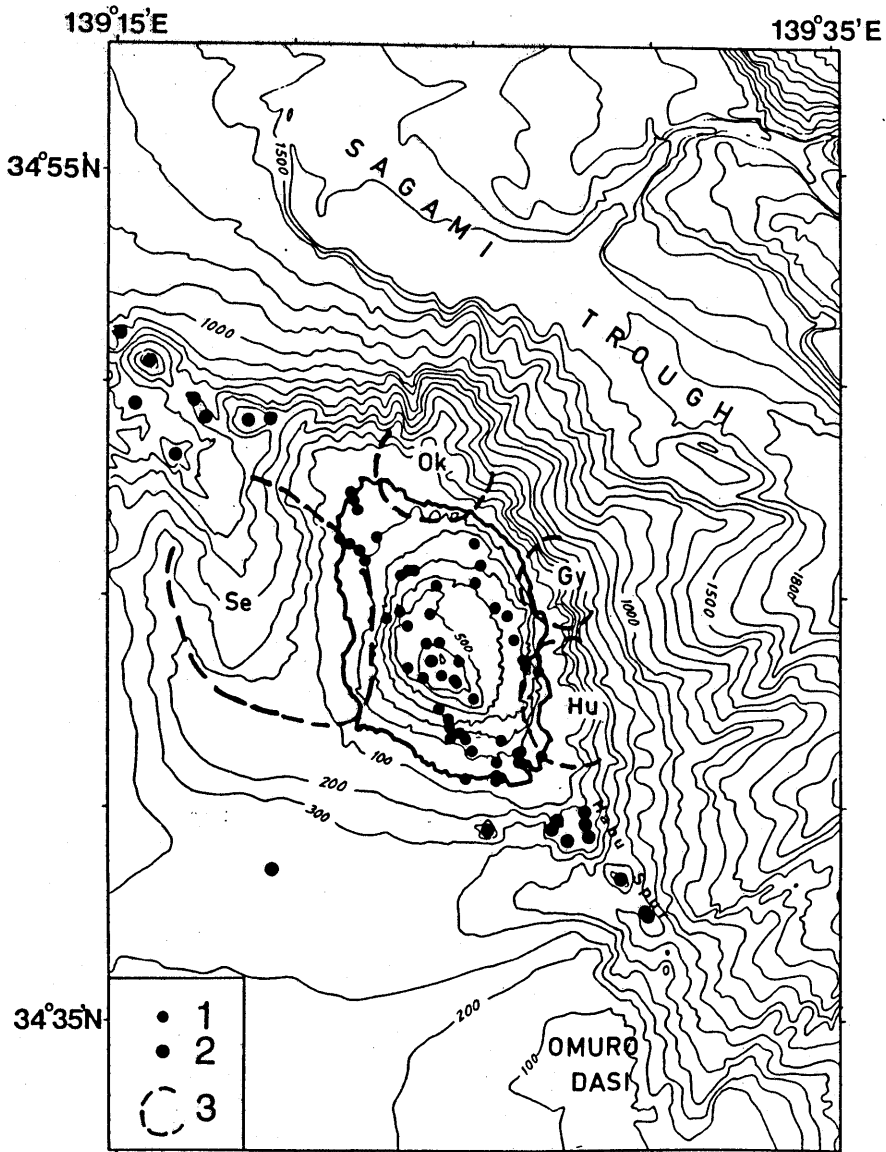
海上保安庁水路部

海上保安庁水路部では、1986年の伊豆大島噴火後の1986年12月に、測量船「拓洋」(2600トン、橋本 賢船長)による、海底地形、音波探査、地磁気及び重力を調査項目とする伊豆大島周辺海域の海底調査を実施した。調査データに基づき縮尺5万分の1海底地形図、地磁気異常図、フリーエア重力異常図等が作成された。この調査によって明らかになった伊豆大島周辺海域の地質学的、地球物理学の特徴は、次のとおりである¹⁾。

1. 伊豆大島の北西延長部及び南南東延長部に海丘列ないし海脚状の地形的高まりが認められた。北西延長部は乳ヶ崎海丘、西乳ヶ崎海丘などの高まりであり、南南東延長部は波浮海脚である。いずれの高まりも強い地磁気異常が認められ、三原山を中心とする大島火山体の一部が海底まで続いていることを示している。
2. 伊豆大島東岸に隣接して、千波海脚を主体とする北に開く馬蹄形の高まりに囲まれた凹地が認められた。ここには強い地磁気異常が認められるなどの特徴から、現在の大島の西部の基盤をなす古い火山体である可能性がある。

参 考 文 献

- 1) 加藤 茂ほか伊豆大島近海海底調査班(1987): 伊豆大島周辺の海底調査, 水路部研究報告, 23, 177-185.
- 2) Oki, Y., Aramaki, S., Nakamura, K. and Hakamata, K.(1978): Volcanoes of Hakone, Izu and Oshima. Hakone Town Office, 88.



第1図 伊豆大島火山の構造概要図。等深線間隔 100 m。
 1 : 陸域の側火口 (Oki et al., 1978 による),
 2 : 海底の海丘, 3 : 古い火山, Gy : 行者の窟
 火山, Hu : 筆島火山, Ok : 岡田火山, Se :
 千波火山。

Fig.1 Schematic map of O-shima volcano.
 Bathymetric contour interval 100m. 1 :
 flank craters on island (after Oki et al.,
 1978), 2 : submarine knolls, 3 : old
 volcanoes. Gy : Gyozya-no-iwaya Volcano,
 Hu : Hudesima Volcano, Ok : Okata
 Volcano, Se : Senba Volcano.